

◎牛乳の品質改善

今年もまた牛乳の品質が低下する季節がやってまいりましたが、乳質改善の最終目標である「よい牛乳を生産出荷するために」の基礎的注意事項については、乳質改善協議会が発刊している「乳質改善だより」とか、本誌にも掲載されておりますので皆さんもすでに充分御承知のことと存じますが、案外理屈は知っていても実行が伴わないのが実情のように考えられます。特に最近のように多頭飼育が奨励され、又実際に酪農が多頭化飼育に転換してまいりますと、皆さん方の労働配分もおのづから複雑になり、乳質改善の仕事も複雑困難な問題が続出すると考えられますが、酪農経営を進めてゆくためには是非この乳質改善に注意していただかないと、せっかく生産した牛乳が乳質低下による二等乳のため乳価が半値以下になり、大きな損失を招く結果ともなりますから、次の事項に注意して乳質改善につとめましょう。

- 1、牛舎内はとかく不潔になり易い季節ですからつとめて彩光、換気、排水等に気を付けて清潔な環境で乳牛を管理しましょう。
- 2、乳牛の体はつねに清潔に保ち、乳房付近の毛は短く刈って搾乳中に異物が牛乳の中に入らないように注意しましょう。
- 3、搾乳者は健康に注意し、特に不潔な手や衣服での搾乳はつとめましょう。
- 4、搾り始めの2ないし3搾りの乳は、搾乳バケツに搾らずに別の容器に取って捨てましょう。

- 5、搾乳用器具はよく洗ってから消毒薬で消毒し、乾燥したものを使用しましょう。
- 6、搾った牛乳は直ちに濾過し冷却槽に入れ攪拌棒で攪拌しながらすばやく摂氏15度以下に冷しましょう。
- 7、冷たい牛乳を温かい牛乳を混ぜるときは必ず同じ温度に冷してから混ぜるようにしましょう。
- 8、牛乳生産者は社会的に自分の生産物に責任をもつことが必要です。